



香川県教職員連盟機関誌  
発行所: 香川県教職員連盟  
発行者: 北村 顕吾

〒760-0004  
高松市西宝町2丁目6番40号  
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721  
FAX (087) 835-2723

毎月10日発行 定価1部500円  
(年間1,000円 送料とも)  
会員の購読費は会費の中に含む



香教連は、結成四十七年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

### GIGAスクール構想の推進と新しい時代に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のために



六月二十五日(金)、Zoomによるリモート会議において、平井卓也デジタル改革担当大臣と北村顕吾香教連委員長による意見交換会を行った。主に「GIGAスクールの現状と課題」と「学校における働き方改革」等について意見交換を行った。

まず、北村委員長から、「GIGAスクールの現状と課題」を伝えた。具体的には、ほぼすべての公立小中学校で「児童生徒一人一台端末」が配布され、学校内に高速大容量の校内LANが整備される等、通信環境は早急に整備していただいたが、整備された端末を、どの単元のどの授業で、どのように活用するかを準備するのが大変なことや、教師も児童生徒も端末操作にまだ慣れておらず、学年や用途によってはアナログよりも時間がかかってしまうこともある等、まだまだ多くの課題があることを伝えた。また、「学校における働き方改革」については、「ICT活用による業務の効率化を図るため、全県で各書式・様式の共通化・電子化の実現に向け、市町教委と連携して早急に環境整備を図ること」等を重点項目として県に対して要望したことを伝えた。さらに、将来的にマイナンバーカードと指導要録や健康診断票の内容等、児童生徒に関する情報の紐づけの提案や、BYOD(保護者負担)に切り替わるまでの確実な環境整備の実現と国や地方の教育行政への予算拡充及び予算不足の解消についてもお願いした。

その中で、平井デジタル改革担当大臣は、これからの学校・教育現場では、ICT活用無くして、次世代を担う子どもたちを育成していくことは現実的ではないと述べられた。また、GIGAスクール柱の五つの柱である「①遠隔・オンライン教育の実施」「②個々の子どもの状況を客観的・継続的に把握・共有」「③文理分断の脱却とPBLによるSTEAM教育の実現」



六月十三日(日)第三十八回全日教連定期大会が、Web配信により開催された。全国から八十名を超える出席者があり、香教連からは、北村顕吾委員長(全日教連副委員長)、原井和彦副委員長、村松宏晃副委員長(全日教連事務局次長)、高木俊彦事務局次長(全日教連執行委員)、木下るみ子幼児教育部長(全日教連事務局)、人事対策部長、那須将弘高学協会長の七名が出席した。

### 第三十八回全日教連定期大会 Web配信により開催



菅義偉内閣総理大臣や萩生田光一文部科学大臣をはじめ、多くの方からビデオメッセージや祝文を頂いた。はじめに、島村暢之全日教連委員長の挨拶に続いて、令和二年度の活動経過報告が行われた。

その後、令和三年度の運動方針、予算案等について議論が交わされ、その結果、全ての議案が承認された。初の配信での開催となった定期大会だったが、コロナ禍での新たな会議の持ち方も発信することができた。



### 温故知新

今回は「子どもの発言を具体的に・先取りや代弁をしない」というテーマです。先取りや代弁をしないことは、子どもの発言内容を具体的に授業する上で重要なポイントです。

①抽象的な発言内容で進む授業  
「その時に気になったことは？」と「乱暴な言葉です」とか「〇〇さんはどうして？」と「乱暴な言葉で」「がんばっていました。」等といった内容です。本人なりに具体的なイメージはあるのでしようが、聴いている他の子どもたちには分かりません。それが勝手に解釈して聞かれています。

②「例えば？」と問髪入れず聞かせる  
子どもの発言内容が抽象的な内容であった時は、すぐに「例えば？」と問髪返します。ハッキリとスパッと尋ねるのです。そうすると次のようになります。「はいしめとは、乱暴な言葉を使うことです。」「例えば？」と「例えば、ウザイとかバカとかという言葉です。」このときのポイントは、問髪入れずに「例えば？」と問髪という事です。そうすると、子どももパッと答えるようになります。

③子どもを伸ばす「やさしさ」をもつ  
子どものコミュニケーション力が伸びない大きな原因は、教師や周りの大人が子どもに言わなければならないことを代弁しているからであるとも言われています。そのような行為は子どもを伸ばさないので、新しい時代になっても、子どもにルールを守らせ、主体的に考える力、考えを発信する力、対話する力、傾聴する力等を育てる本當のやさしさを教師はもつべきです。(顯)